

【報告】 桜蔭会東京支部 2025 年秋の公開講演会

内藤明美コンサート

～ドイツ歌曲の魅力～

日時:2025 年 10 月 4 日(土)午後2時開演

会場:国際交流留学生プラザ 4 階 同窓会共用室

【演奏者紹介】

内藤明美氏 メゾソプラノ

お茶の水女子大学大学院・東京藝術大学大学院修了
東邦音楽大学大学院特任教授・同大学図書館長・
日本声楽家協会理事・日本ドイツリート協会顧問

平川寿乃氏 ピアノ

お茶の水女子大学大学院修了
二期会オペラ研修所・日本声楽家協会ピアニスト・同協会コレペティトル会員

強烈な猛暑もようやく終わりを告げ、秋のコモンズにて、声楽家内藤明美氏とピアニスト平川寿乃氏によるコンサートが開催されました。

会場参加者 83 名となり大盛況でした。

コンサートは、内藤明美氏の楽しくわかりやすい曲目解説やエピソード等のお話を交えての進行となり、プログラム中ほどに平川寿乃氏によるピアノ独奏も 1 曲入り、聴く人々が引き込まれていく彩り豊かなドイツ歌曲の魅力あふれる演奏会でした。

♪はじめに(内藤明美氏)

母校で歌うのは大変名誉なこと、ありがとうございます。

テーマ「演奏される機会は少ないが、私が魅力を感じた曲」を中心にご紹介していく。
本日のプログラムは「知っている曲もお願いします。」という皆様の要望も取り入れていく。

大学入学して間もないころ、シューマン「詩人の恋」を演奏会で聴き、感銘を受け
大学1年の頃からドイツ歌曲に取り組む事になる。高じて絶対ドイツ語が生まれた所に行きたいと、ドイツ留学をする。ドイツ留学をして10年近くドイツに暮らす。
さまざまなレパートリーを開発していく中で、日本で紹介したいという思いが強くなる。

【曲目解説のお話&演奏】

*ドイツ歌曲を歌った原点はローベルト・シューマン。シューマンは法律家を目指していたが、音楽への思いが強く、ピアノを習いにピアノの高名な教師ヴィークのもとへ行く。ここで、ヴィークの娘の天才少女ピアニスト「クララ」と出会う。父は二人の結婚に大反対し裁判沙汰になる。時を経て、1840年クララと結婚。シューマン30歳。
あふれるように歌曲を書く。
歌曲集「ミルテの花」は、さまざまな詩人の詩を集めた一つの花束のような作品。
結婚式の前日歌曲集「ミルテの花」を書き上げ、クララに捧げた。

♪歌曲集「ミルテの花」/Robert Schumann より3曲。

1. 献呈(リュッケルトの詩) 2. はすの花(ハイネの詩)
3. 君は花に似て(ハイネの詩)

*ドイツ歌曲をよく歌っているシュワルツコップフという歌手がいる。
ヨーロッパでは、オペラ歌手は劇場と契約し職業として成り立っている。
歌曲は、オペラ歌手がちょっとした演奏会を開く時に歌う傍らにあるような室内楽的存在と捉えられていた。
シュワルツコップフ、フィッシャー・ディースカウの二人は、ドイツ歌曲の価値を高めた方だと思う。シュワルツコップフによると、歌曲の1曲はオペラの1幕に相当する。そこに凝縮された世界があって1つ1つが完成されている。しかも短い間に伝えていくという面白味もある。集中が必要な世界。小宇宙。

*メンデルスゾーン〜ユダヤの血を引いており、迫害を受け、その後評価はあまり高くなかったが、素晴らしい才能を持った方。
20代にして、バッハ/マタイ受難曲を再発見して世に広めた話は有名。
ドイツで初めての音楽大学ライプチヒ音楽院を設立し、ローベルト・シューマンが作曲の教授として迎えられている。

* マックス・レーガー～複雑な楽譜を書くが、そんな彼が、「素朴な歌」として歌曲集を作曲した。そこから2曲演奏。

♪4. 歌の翼によせて/F. Mendelssohn (ハイネの詩) 5. マリアの子守唄/Max Reger
6. 薔薇の小庭に/M. Reger

* リヒャルト・シュトラウス～オペラで有名。《ばらの騎士》など。今でもヨーロッパで盛んに演奏されている作曲家の一人。

* アルマ・マラー(グスタフ・マラーの奥さん。女性作曲家。)
近年女性作曲家に光が当たるようになる。グスタフ・マラーは交響曲作曲等大変忙しい人で、アルマには作曲をやめてほしいと要望。
アルマは作曲をやめ、夫の交響曲のスケッチをオーケストレーションなどして支える。

* ファニー・メンデルスゾーン(メンデルスゾーンの姉。女性作曲家。)
ユダヤであることによる迫害や偏見により、学校に行けなくなり、弟と共に家庭教師のもとで一緒に作曲とか勉強する。メンデルスゾーンは絵もうまかった。
姉のファニーは、作曲家として活動しながら毎週日曜演奏会を企画して家族で楽しんでいた。ファニー・ヘンゼルとして楽譜も出ている。

* ブラームス～《永遠の愛》/Johannes Brahms は、大学の卒業演奏の曲で
微音堂で歌った。まもなくドイツにて「ブラームス コンクール」がある事を
知り、開催まで3週間位しかない中で20曲あまりを準備して持つて行く。
この曲は、シュワルツコップフの公開講座でも歌った。

♪7. あした/Richard Strauss 8. 君のそばは心地良い/Alma Mahler
9. 永遠の愛/Johannes Brahms

〈休憩〉

♪ピアノ独奏 平川寿乃氏
10. 愛の悲しみ/Fritz Kreisler 作曲 /Sergei Rachmaninoff 編曲

(内藤氏) 平川先生はいつもとても素敵な伴奏をしてくださる。お茶大時代にお世話になった高橋大海先生が、日本声楽家協会を立ち上げ、声楽家、演奏家の方々のスキルを高めるための講座を開いている。私もそこに何うようになり、指導をしているが、

そこでも平川先生とご一緒している。

後半の曲に入る。今日は「ドイツ歌曲の魅力」として演奏しています。

ドイツ語を使う国は、ドイツ、スイス、オーストリア。

* オットマール・シェック〜 スイスの作曲家。ヘッセとも親交がある。ヘッセ歌曲も素晴らしいものがたくさん残っているが、上田敏の訳詞で有名な「山のあなたの空遠く〜」(カール・ヴッセの詩による)。

♪ 11. 山のあなた/Othmar Schoeck

* エーリヒ・ヴォルフガング・コルンゴルト〜 オーストリアのユダヤ系作曲家。
幼い頃から大変な才能を発揮し、神童として知られる。10代で書いたバレエ音楽やオペラは大成功。父は評論家で、息子の作品をマーラーなどに売り込む。すぐに名声を得る。しかし、ナチス・ドイツの迫害を受け、アメリカに亡命し、映画音楽を作曲しこの分野で活躍する。デイズニー、ジョン・ウィリアムズ(スター・ウォーズ)など、コルンゴルトのオーケストレーションの影響を受ける。

* フランツ・シュレーカー〜 オーストリアの作曲家・指揮者
オペラの作曲家。当時はリヒャルト・シュトラウスを上回る人気を博す。
ベルリン高等音楽学校の校長を務める。ナチス・ドイツの迫害を受け、
その職も追われる。その後、失望のあまり亡くなってしまう。

* ペトル・エベン〜 チェコの作曲家。ホロコースト生存者。
本日は、彼の歌曲集から英語の歌を歌う。

* アントニン・ドヴォルザーク〜 チェコの作曲家。
「母が教え給いし歌」は、学生の頃はドイツ語で歌っていた。
チェコ語で歌うのが最近は主流になってきている。本日はチェコ語で歌う。

♪ 12. 小さな恋文/コルンゴルト 13. 美しく柔らかに陽光あふれる/シュレーカー 14. 夏は来ぬ/エベン 15. 母が教えてくれた歌/ドヴォルザーク

* アーノルド・シェーンベルク〜 難しい音楽じゃないかな？ 一二音技法って機械的に一二音を組み合わせで作った曲なのかな？とか、シェーンベルクに対していろいろなイメージを持たれているのでは？ 留学する前に、いろんな時代の曲を用意しなくてはいけなくて、シェーンベルクは1曲だけ勉強し、それぞれの時代の曲を用意して

留学試験をドイツで受けた。

《架空庭園の書》

ドイツで勉強している内に、先生から、勉強になるからシェーンベルクを歌うようにと言われ、15 曲よりなる歌曲集《架空庭園の書》に取り組む事になる。ゲオルゲの詩で、全部小文字で書かれている。

*ウィーン シェーンベルクセンターにて

日本に帰ってからウィーンに行く機会があり、このセンターを訪問した。

シェーンベルクは、証明写真を撮る時に、変顔をするなどお茶目な一面を持つ。

シェーンベルクは、ほぼ独学であった。唯一ツェムリンスキーに作曲技法を学んでいる。

アルマ・マラーもツェムリンスキーのもとで勉強している。シェーンベルクは、ツェムリンスキーの妹マティルデと最初の結婚をする。その後、ゲルトルートと再婚する。

その娘さんが、日常のお父さんを伝えたくて、シェーンベルクの晩年に録音をして、絵本を出版している。

例えば、食事の時。子どもたちに「早く来て！アーノルドがこんなに待っているのに来てくれないの？」「さあ、お話しようかな？早く食べた人からお話してあげるよ！」～話を始めると抱腹絶倒。シェーンベルクはユーモアたっぷりの人柄であった。

《月に憑かれたピエロ》

更に難しい。現代音楽を弾かれているピアニスト廻由美子さんに誘われて、歌うことになる。「シュプレツヒシュティンメ」と呼ばれる独特な歌唱法が特徴的。歌わないで喋る。複雑なリズムは譜面通り喋る、一瞬音に入ってください、時々その音を歌ってください、などの明確な指示がある。ドイツ歌曲はドイツ語で表現していく。ドイツ語は子音が多いのでベルカントとは関係ないと思われるかもしれないが、実は、ベルカント。子音を繋げて綺麗なレガートで歌う。そこをやる。このテクニックも皆さんたくさん学ばれていると思う。

演奏時間はアッという間の短い2曲。

シェーンベルクを聞いて、「きれいだな！おもしろそうだな！」と思ってくださったら良かった！と思う。

♪16.「架空庭園の書」より 美しい花壇を焦がれながら見つめる/シェーンベルク

17.「月に憑かれたピエロ」より 月に酔いつつ/シェーンベルク

〈プログラム終了〉

【アンコール2曲】

メーリケは、お茶大時代の思い出深い曲の一つ。音楽科で歌の高橋大海先生、ピアノの遠見豊子先生、音楽学の大宮真琴先生、徳丸吉彦先生などたくさんの先生方から知性のシャワーを浴びる。ドイツ語の志田麓先生、ドイツ歌曲が大変お好きで、先生の研究室に遊びに行くと、笑顔で迎えてくださった。大学卒業の時もメーリケを歌った。「内藤さん、メーリケを歌いましょう！」～志田麓先生の思い出と共に～

☆Hugo Wolf (フーゴー・ヴォルフ)作曲

詩 Eduard Mörike(エドゥアルト・メーリケ)

Mörike-Lieder Nr.9

メーリケ歌曲集より 第9番

Nimmersatte Liebe(飽くなき恋)

☆宮崎康平作詞作曲

島原の子守唄

～花束贈呈をもって、演奏会終了～

【編集後記】

感動の余韻さめやらず、温かい素晴らしい演奏会でした。

内藤明美先生、平川寿乃先生に、一同感謝の気持ちでいっぱいです。

ありがとうございました。そして、関係各位、係の皆様に感謝申し上げます。